

北畠家の遺跡を  
たどるみち



起 点 大台町下三瀬 (下三瀬バス停)  
終 点 大宮町滝原 (滝原宮バス停)  
延 長 11.0km  
利用タイプ C



沿線の風景

この道は北畠家の遺跡で始まる。下三瀬の町並みの一角の竹藪の奥に三瀬砦跡（土壘）があり、宮川の深い谷で守られた天然の要塞であったのだろう。また街道筋には茶屋はつきもので、近くの慶雲寺には茶屋の屋敷跡がそれを偲ばせる。国道42号を横切り山裾にむかって広がった最奥に北畠館跡、北畠神社がある。また、近くの展望台からはこの地域全体を見渡すことができる。のどかな田園の中の疎らな民家をあとに、旧道沿いの民家集落を通り、宮川を三瀬谷ダムでとめた広い湖面に出る。ここは水辺のスポーツに最適な場所である。ダムを通り抜けながら、満々と保たれる水と峡谷の大眺望を味わいつつ進む。林道を歩くと、紀勢本線が道筋と平行に走っていて、鉄道ファンならずとも心躍る。木々の間に間に大内山川の渓谷を見ながら進み、滝原宮バス停で終点となる。

主な見どころ

三瀬砦跡、慶雲寺、北畠具教館跡、胴塚、北畠神社、茶臼山展望台、奥伊勢湖漕艇場、大台海洋センター、三瀬谷ダム

凡	例
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◀展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場
— 近畿自然歩道	
- - - 近畿自然歩道(整備中・未整備)	
— 東海自然歩道	
〔利用タイプ〕	
Aタイプ	山地等でやや体力を要するコース
Bタイプ	山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース
Cタイプ	全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース

1:25,000

